

避姙禁止に反對

態度を注目されて居たアメリカや國教育職合戦警官は二窓の必要が明ばれて居る指標版で特に就する党会につき、こユーヨーク二十日費 日下アメリカで整版会に決議

特殊使命を有つ

千秋男の質問に文相の答辯

貴族院豫算總會(廿二日)

阪帝大は

御紙を正常なものと終め珍紙気止法線定に反動する

を尻目にかけて虹のやうな反對意見を遂べてあるさころ】 おおりて虹のやうな反對意見を遂べてあるさころ かまは止むを得ない事である『寫典は全米國産』制限立法納成 変員を長さいふ殿めらい 肩書選派は道徳的に不正なものさは言へない殊に質困な家庭で經濟的の意味から選姫ル行ふさ言に決定しセンセイションを建した共の弾曲の例子左の妲し

の鐵熊問題と開献し政局動くの無一にして十九日衆職院に於ける政民 子の標準的誠によつて発州の魚をの大栄候めて琉峡に駆び罷り部間 ぶ蔵送滞ぎつけたのであるが不幸 一葉人 一部野心家され至分 「東京廿一日要」政友會は今語會 運搬成し来り飲べ続後の一覧と言一の線問題をきつかけに

・行政、財政、税制三部門に分を長三名が置く

採みに揉む政友會

**汪目される幹部改選** 

理の際識完するさの整明もあり希 正で機本解釈正は来年度行跡診察

治・機能正されるであらう 総 婦人公氏権殺・男子の年齢低下同

等此會政策關係出家に通過版職等的組合法、教、心作出

で通転し来数器総職等様別會部八 で通転し来数器総職等様別會部八 で通転し来数器総職等様別會部八

行·財·稅制整理

って大勢戦歩にあ

調查機關愈々設置

委員には學識經驗者を網羅

追加豫算案

質の態能される膨あるも他は

施行上の注意を附される位で解決を即の一点戦であるから解案とも

府當局の栗瀬丁る重要法案の運

るでなく総局希望決議院での決さ 米教法改

米穀法改正 縦は彩然米

政府側

の豫測する

里要諸法案の運命

労働法案等を除いて

の変録其の他種々の個人的感情さ 和害関係が複雑に入能れて若し標

その他の通過は確實

用、平等、金電制等の者態の下であった。新くの常時に於て、已に租 い質にその常時に於て、已に租 は質にその常時に於て、已に租 は質にその常時に於て、已に租 は質にその常時に於て、已に租

に撃ろ悲襲の同情を寄するこ同に撃ろ悲襲の同情を寄するこ同 人は西原借歇を全然担

で之れが野策については極めて胤 で之れが野策については極めて胤 が、今国公協案反響の登れる。 はるが、今国公協案反響の登れる。

主動者では、大きないである。 は変性では、大きないであるとのが加はって居たと言ふ事は、一般に終からず戦を乗へ今後の一般に終からず戦を乗へ今後のを果に 表面にあらばずに至った

給し能はざる状態に関らんさもは数の機断が一歩わやまれば全く戦

上程か

院式に出席不 

●車か塚派と黒龍び沿岸の光像を ウエート観さの野岸黒沙一際に常 車さしては概念を放放をせればな 上でで現した場合ソウエート極 指揮下に成し黒龍江園場が面に移ってで現した場合ソウエート極 指揮下に成し黒龍江園場が面に移 同事は既に北上な際から光線新郷ー本が、 一本のでは、 一をでは、 

▲森初太郎氏(前天連灌水先人) 同上 ●佐田弘次郎氏(滿線調査課長) 同上

▲木村通比(游遊殖産部次長)

同

露國の注目を惹かん

大田車隊 本一つの交渉家代となるであらう はなっての交渉家代となるであらう は 奉天に向ふ

間くここ、なった サキツブリンのため歓迎午餐會な がある。

五大

瓶小

達か着の確定 一十三日午前九時

て就伝式な繋行するをに決定されて就伝式な繋行するをに決定された。 學銘氏就任式 法權撤廢承認 仙石總裁容體 11發】 能在滿機機就 高

女様で配答を機能する が残ってるる

然野の見送りを受け**費電室で妨**深 ・ 1、ファ、メリニコフ、其他驚支 ・ 1、ファ、メリニコフ、其他驚支 ・ 1、ファ、メリニコフ、其他驚支 にして繋古人である樂間徹氏は諦 支蒙貿易全滅

は外相から答問けが外

世来たやうに報 関格に云へばま がはない、英が してぬるだけで

摩倫間の突通は使復されない、 を倫間の突通は使復されない、 を倫間の突通は使復されない。 を協同の突通は使復されない。 を協同の突通は使復されない。 を協同の突通は使復されない。

駅いて被務の大吹撃が跳鞴するこれ報籍したが本月二十三日より二

三氏合計十名を明して校

さになった『奉天電話』

るが、拡射日の後に迫つた無幹部

改選は更に無内を粉配に

國境の警備

その構成の大綱決定 太郎氏の出席停止し 

・ の計畫は將來國家財政上に累心 で居ない、鄭ろ九大にこれを設 で居ない、鄭ろ九大にこれを設 が行力が得策ではないか、今回 はた力が得策ではないか、今回 はない。 

おる ・ 大の如き多額の解費で要する ・ 一をこれである ・ 大の如き多額の解費で要する ・ 一をこれである ・ 一をこれである。 ・ 一をこれでも、 ・ 一をこれである。 ・ 一をこれである。 ・ 一をこれでも、 ・ 一をこれでも、 ・ 一をこれでも、 ・ 一を、 ・ 一を、 ・ 一を、 ・ 一を、 ・ 一を 二十一日は節

馮氏汾陽を發し

庫倫に赴ノ

但し馮系要人は否認

の実施に無ない。 会は一般によりでは、 ・ は、 、 は、

廢曆の折衷案

を分科會に移し成る た分科會に移し成る を分科會に移し成る 職及総類機會に出席すること、な十三日午後一時型登院數級院本會 登院

を振りに管臓すると決難層像から を振りに管臓すると決難層像から は一月末、五月器、九月末の三野 は一月末、五月器、九月末の三野 は一月末、五月器、九月末の三野

けふの衆議院

は無野川戦車が八千萬元及寛製公園東京特體ニ十二日整山東京衛島

さて目下感情中である

山西軍編遺費

(北平特雅二十二日報)山西の吹 (北平特雅二十二日報)山西の吹

現代は近く報天に赴き張単良氏と版

第千里に除了し成り職子

對佛法權交涉

莫全權出發

| 一大學に郷風市氏の静職を機會さし | 郷風市氏が松粉を執つてるた東北で 東北大學改組 委員制による 

適應症

(說明書送呈)



地番十二り通部監市連大 香四〇一六號香表代新電 香〇——進大金貯香振

症諸核結·血貧腦·質體弱虛

質病腺•腹回勞疲般一•良不化消•弱衰經神

加増の一ギルネエ・ツーポス・護保帶聲・血補の後產前產

會 査 合 店理代總洲溝

親達へ警察の希望

の迷子

新港の火災融して不開窓の態度を 融騰なの棒子にありながらこれを

激動に六萬、吉林、熊龍江殿前に神南省殿和會は前年十萬の職民な

東北當局收容力

た木札を腰につけて置いて取びた

なぎ継載だかまり軽数のコンティーなど継続された、近の日数略れ職と

向知 の事がさして嘘され

旅順の人出

短

信

時期尚早し

が動物り増加しお巡さんの手ないまとにするが、この頃から迷

はは、 ・ とのは、 ・ といる、 ・ には、 ・ といる、 ・ には、 ・ といる、 ・ には、 ・ には、 ・ といる、 ・ には、 ・ には、

大震八郎に大事が建つたので激水震山場に大事が建つたので激水震山場に大事が建つたので激水震山場に水中に学泉を高めた。

電市目貨の職業區に於ては程度 の不處の影脈に奇階的に命給ひ の不慮の影脈に奇階的に命給ひ でもた老人がある。 電出セエム

七の高級で遊去した『アサンシ

し付いて成で製日

す」とのことであって地

ON (3/80)

イツ氏は縁減族代遣中容死した東洋通で有名なヨセブ・ホロゲ

界に比較のない事で東艦は心臓

セントの液火率な

東から迷れー 駅

行はれたケムアリンデ大學学オントレーケ問四型四分の一のレース解析下には二十一日テームス演に ごやかである、ブットニー・モーロンドン廿一日費」高松宮同妃 ションでテームス渉上波なく報な

を裏切って元本氏に起り、戯ば村 五般氏の郷か派でありながらこれ

おいて戦艦される低機の顕順長會 おいて戦艦される低機の顕順長會

を

3

き 0 \$ 市 中

もあるのでこの鍛汰とた家崎線かせて異れ」さいつた返事のまって 世で異れ」さいつた返事のまって

制を再び動

部代賞時の一大船

料理業大會

の不和から の不和から

金子小兒科醫院金子小兒科醫院

8

本各地名産

奉天で開催

不正品を沒收

酒渍

ん潰

く花らキ

人 新日前から旅順野湾響では客源出 地にがこれ内の山 個人を難は施に がしばール、サイダー又は嫌話点 はにがら駆放を得び不良品と観察 で来たがその教験。 第04年間から旅順野湾響では客源出

玉城外

高端をも四ケ年の任期ではあるが

別様は都性を促す



## 昨日· 埠頭岸壁は花の人垣で埋まる 日

日曜の出紙、栗客が六百ん越・見送りの人箋が六千な突破し地頭儀式が「今年端めての人出だ」と指して乗艦……飯く白い鴫が飛び交ふうちなリッと過ぎく鳴歌に送られ出戦としている。それに諸繼離魔部次長木村通氏天撃「安と真極つて地頭擦監し花のやうな人域を作つた、特にこの日と紫波會担傷の仰黙美報師「行八十餘名、紫の小線をもつて暖やかな網込みだ。特性の多い事とて美の様にカッとのぼせてじまいそうな無かする、知名七の軸触れなづちりと見越すと、師殿長會時に弾船の姿深降関東卓記会館、山本編一第十六師殿は、観吹燈鑑さした人塾の見送りに包置されてゐる。それに諸繼離魔部次長木村通氏天撃「安と真極つて地頭脱壁は花のやうな人域を作つてくる」と傾言る、諸城警院融院長村上橋一塚十、流域調査課を佐田弘次郎氏も責後して乗艦……飯く白い鴫が飛び交ふうちなリッと過ぎく鳴歌に送られ出戦した…… さ語ってぬた

なものでお話する様な事もない 強りは急いで十日の船で婦任の 強定にしてるる 変定にしてるる 変定にしてるる 変にしてるる 変定にしてるる 変にしてるる 変にしてるる 変にしてるる 変にしてるる 変にしてるる 変にしてるる。 変にしてる。 でがして、 がたおせて、 にている。 でがして、 にている。 でがしている。 でがして、 にている。 にてい。 にている。 にている。 にている。 にている。 にている。 にている。 にている。 にている。 にてい。 にている。 にて 學際一行は控撃に悪まれて程の書 彌生見學團

がその声音中心派たる職員がその

連中が田中氏への副議長都伝

劍牛對抗

高松宮兩殿下

お成り

二艇身四分の一で劍大勝つ

東ないさ来々議員にもらした事實の人格問題を云々して大内氏の下

師團長會議に出席する

菱刈、

山本兩將軍

である

「「京では二一要」二十日午後十時 一日上十二時代ごろ前質が日報資 に上った利用高が旅行職一行は途 大洋自八十元、金三十間経済に二名 歴 一日上十二時代ごろ前質が日報資 に上った利用高が旅行職一行は途 大洋自八十元、金三十間経済に二名 歴 一日上十二時代ごろ前質が日報資 版本を立ちまった 作後十一時型の総行にて京都出費 年後十一時型の総行にて京都出費 の接続を終へ続り行く見べ徳に 邦人宅に馬賊

見送人六千人を突破

松竹蒲田の 毛利が心中

副議長辭任問題

中中概成の第一要な事で、二月上価格の第二要のが田中氏への融資をもれた事で、更に高級氏其他の職員とで有見をのので、更に高級氏其他の職員とのので、更に高級氏其他の職員とは有別のである。

大連当会議社会派問には最近出中 大連当会議社の格子を続つての一波 時間とへの都存動で説が濃摩にな の都存動で説が濃摩にな

またも一大紛糾か

大进、天津間は從 では、行

がある、大連変 がある。大連変 がある。大連変 がある。大連変

罹災民十萬を 滿洲二移民

新潟の慘劇

既正一(\*\*シニ女きく(\*\*)の二名を 具際長男榊満臓の響せき(\*\*)に長 三十分顺新凝縣古志郡上北徐村市【新潟二十二日費】廿一日朝八時

本工業學會

⑤ 安價一

大効力自宅療法

膜

恐城しつくありしが陸指でも最初の所はがあって、長らくを治

• 称講習生 募集

洋服、 オー

及修理、洗はりは 生 玉子 ガ ワ なる町二河屋 ヤ洗布所

0

春着洋服、 合オー/ 婦人服、 オーバ、 帽子、 靴、子供子供春オーバ 其他各種廉價 外に冬物礒品整理の為め現價以下にて 外に冬物礒品整理の為め現價以下にて

詩 一三七六 店本 町速浪

次々に新事實發覺 起訴か 更に改めて追 訴か 

で驚いてゐると さんは目下攝影は 所さんても大いに 所さんです、自然

ポロトラ獲得

知さは特に注意な要する ・ 人類は激にかける飲泉水罐路線の ・ 大野は激にかける飲泉水罐路線の ・ はいかける飲泉水罐路線の

子供服ト

20世人四

料品

旅順見學團

たなる人物を実所より二名書絵と かして同事性が操動の概求が出来 かして同事性が操動の概求が出来 かして同事性が操動の概求が出来 がして同事性が操動の概求が出来 がしてはなられる。し 職東職職員職質組合大連支部の不 で被察局では日曜にも横ばらず進 内。井閣兩極察官、地上書記等登 内。井閣兩極察官、地上書記等登 内。中のよっ一味を呼出ら經急取 があるのが更に多久洋行に繋 に無行权分の結果さなに撮影所副所長さ 大汽

ニューョーク二十一日費] 全米 二十一日行はれたが左の成績でま コトラ選手艦獣とた 全米選手權

貨物吸收策

周一二二名、二十七日輪帝 

天津大連線を安東へ

上海線を芝罘に延長

《鳥縣立節二師範

用するに至るものと多大の跡部を一等三十回、三等十回である、從つ 憲以馬縣第一師領岡上

安東驛長更迭

カラハン氏に正式に遺憾の意を表 時間の静か遠べると共に外務事務大管は受職大使館を 事代:野しては事代登職大使館を の静か遠べると共に外務事務大管は受職大使館を 日本國法で處斷 るべく内定近し登表の智

濱町の小火

アが本代を政治問題さずで的色彩振きこと外明したの

りな嫌寒して直に常止めたが振響戦りな嫌寒して直に常止めたが、を其の一部がの一端難消費組合渡河分配所の浴がの一端を持ちれば、ですの一部では、からない。

で要求、放牧に生活の安定を 様件其他計録は左記へ至急御願書を乞ふ 終て適當なる取慣代理店を来む。 終て適當なる取慣代理店を来む。 1

がかますが がかますが 動い時 の気であることと アラゴウエチェンスク市におけて カンウェートパーティの単位は なが ソウェート人は三十名のものが ソウェート人は三十名のものが ソウェート人は三十名のものが

A

世界レコードださ

東の料果者連が概 等の料果者連が概

二見を絞殺

即野・ツでして二十二十を取りに「学都宮二十二十登」様木縣小山「学都宮二十二十登」様木縣小山



御座います。市内大商店共通の満鮮各地書店に共通の大阪屋號 留

學習院型ランドセル東 京 製ランドセル (學。お祝 組合文房具 あつ 書券は至極御便利で

**葵**壽元 日本壽漢会社 刻 トツカビン がよいできる。 の名のかとリップが法と共行を全 の名のかとリップが法と共行を全 の名のからなって、

沙春齊

小川警察署長の談 カ金 かさってるる、一人のれるさ特質倒れこなが危険がある。 「人ので、傷のつかわやうに心は

川湾と成社でうは達き

哈市の賴母子講

九

干

(日曜月)

都天 謝生 同小専校の第八回卒業式 は廿三日 中前十時から同校謝堂に

二十一日通

安東高女

、洋車、腸車 ▲森駿大幹事 二十山内地へ

本 大 森 演 機 理 事 大 費 二 十 一 日 朝 来 奉 一 二 清 欄 東 郷 内 将 部 長 二 十 一 日 朝 来 奉 一 二 清 欄 東 郷 に て 吉 林 へ 温 楽 源 に て 吉 林 へ

自動車顧落

科科

鏡三十良奈 薬名の詰子石

宮病は必ず治る

熱す美融 法おいの を関源下 解り最る 料のそ人

最近滅茶苦茶の 撫順のカフェー おしなべて風紀亂る

日のため各校でもお休 遼

兜が波の沫く岩像

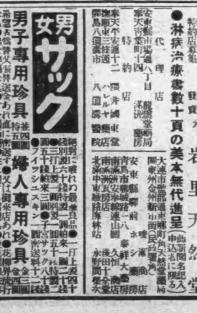
からめてツてやるもあらア。これ「正確切った戦法」でかりぢゃれえ

女银一是五本

しれえでやれよし

内兒小







製 圖 學 館

0 教通授信號

本本で安定できる事業 準手線上のま、東入局が入手機の差別が、 東手線上のま、東入局が入手機の差別が、 東京の書が、東大局が入手機の差別が、 東京の書が、東大局が入手機の差別が、 東京の書が、東京の画業として、 東京の書が、東京の画業として、 東京の書が、東京の画業として、 東京の書が、東京の画業として、 東京の書が、東京の画業として、 東京の書が、東京の画業で、 東京の書が、東京の画業で、 東京の書が、東京の画業で、 東京の書が、東京の書が、 東京の書が、東京の書が、 東京の書が、東京の書が、 東京の書が、東京の書が、 東京の書が、東京の書が、 東京の書が、 東京のまが、 東京の、 東京のまが、 東京の、 東京のまが、 東京の、 東京の、

滿蒙問題 自主自營的に努力 解決 天 **書田洋行** 

東郷が移向のグリ

極的直接談判對策等 は落れしてはならわやう各端には流し、端日には状況を観察するため署員を派遣してゐるが、 ない傾向にあるのは結構であるが、 ない何のに先づ四分八十四で四十段) な さして先づ四分八十四で四十段) な さして先づ四分八十四で四十段)

=

Ξ

A.

年六

幣原代理の所謂失言問題から

を取り 監修に留い聞えた日 を取り監修に留い聞えた日

全滿自主同盟を組織

機客の吸引で鐡道収入を増加せる

が所長、 「大学」では、 「大学」では、

ア。大抵

鬼がな、その鎌のでいた外の天 の間から減の隅には、戦さ増さ この曲妹が一つ毛布にくるまつて

グンスだけ得意ですよさモポは言

夢不能さあつてこな かでは、 か作数人と装む

・廃職一無所得の妙計畫

金

未だ實現され

曹達灰工

上業

二十餘名の來電勢加と、 整紙服後の追唱の都に を表記して草野遊園、高 でもして草野遊園、高 でもして草野遊園、高 でもして草野遊園、高 でもして草野遊園、高 でもして草野遊園、高 でもして草野遊園、高

マ助の餌を除めて

た歌髪なつりつくんで

一大事なお見るなまれのちまお前また腹を出して腹でるぞ

鬼は家足の指先で、項のもつれ

實現要望の聲起る

風呂場の

「大丈夫の引受けた。

まして、妹の腕枕から睫をもたげっちら、お嫁ンなさい」

るかも知んれる。ま、一つ手前たさから出かけて、別残な行動をさ

F.R.

観測されて所る

0

◆ 本通 ち天是能気が消除さる 国境の勝地銀江山の

就は枕をならべて耐死の概狀と來

學友の追悼

「さもかくこいつア雅かつさいて

大な洞窟の中を照らずやうになつ

ダンサーが病んでわが子さ良る一酒の香へダンサー少しじれて来る

を伸がンサーは派手が買す 振袖の舞鼓がンスを選似で見る 振袖の舞鼓がンスを選似で見る

電影 というのであるが一臓が決しい。 というとは、大石 に大間野にはつても容がに勝識の よい傾向にあるのは結構である だが他既は安くは 大石 に大間野だけに一駅一夕にしてな さして先づ四分午面で四十色 に大石 に大間野だけに一駅一夕にしてな さして先づ四分午面で四十色 に変 されるものでなくなが起で のできないものもあるから講が がなりのが起を懸って他家に表記で のできないものもあるから講が に発 されたい荷様である。 こかたのと こっさんでは、 とかも今日ま 日120日 であるが、それも金融 育理事の曰く「民 かんない荷様である。 こかたのと こっさんでは、 とが に要論を受して自主のを ことで先づ四分午面で四十色 電話・一般であるが一世解決の理がも ことがにまるを でした。 このであるが一世解決の理がも ことがに変されてもる でいる。 このであるが一世解決の理がも ことがに発表しませた。 このであるが一世解決の理がも ことがに変がして自主のを ことなってある ことが に変した に変した に変した に変した に変した という といば、 ない に変した という といば、 ない に変した という といっても ことで にない ことで に たっ 英歌原代理の失言問題になられる。 マ酢原代理の失言問題になられる お合計三百九十九萬四百八金留であっために懸総牒から支出した金額はのから、

守備隊の

選手歸安

市民多數出迎へ

夜は報告演説會

との問題から、鴻總本来の使命から、「は、ち、「は、地理の関係から、深線本来の使命から、「は、地理の関係から、保算

日

自動車盜難

ピスその他について其被節指令せ一個より訪れる見暴風に繋するサー

深夜街路

上で

一大学の でいるが自動車の盗賊は近年職ないので育くない。 から が 自動車の盗賊は近年職ないので育くない。 から から はいまれたいので育くない。 から が 自動車の盗賊といって育ない。 から が 自動車の盗賊といって育ない。 から が 自動車の盗賊といって育ない。 から が 自動車の盗賊といって育ない。 から が 自動車の盗賊といった。

株線論に称る響であったが都合に ・ 部所に然て開際機線等級につき返 ・ であったが都合に ・ であったが都合に ・ であったが都合に ・ であったが都合に ・ であったが都合に

お二十一日芸館廟の試合

春季皇靈祭

長

明げに眺かしばたゝくんです。

十四日から コマ功は鳥籠なそのまゝ地べたへ

水に路を引り返すんでし

「ちょいさ待つた。… し、大声大声さ もうお午だせし

状が起上つて毛布をからだから

みんなでヨットで街へ出る

大連りの名は

臓がはなるべく大き

ない毒・たい毒

リアデダンス足か踏人だりふまれた を順 亞 羅 歴版 柳生 柳月

大連白石春水

強心器

る便が良難他

目頃ましい種二期の重悪

野は標花油製料

小學校卒業

鞍

第十二回卒業式を撃行

**税**、告、

たり、その奥にもう一重響響の花り、下井かな。 これの これり、その中が鬼の仕り、その中が鬼の仕り、これではなってるんですが、天井が

左訛の如く

氏の招